



コスモスだより

独立行政法人 地域医療機能推進機構 天草中央総合病院

令和6年3月発行
編集:天草中央総合病院広報委員会

リーダーが行うべき決断とは

院長 芳賀 克夫

今まで、リーダーシップ論につきまして数回に分けて述べてきましたが、今回はリーダーが行うべき決断について考えてみたいと思います。いろいろな部署のリーダーとなった時、決断を求められることは多々あります。私はなるべく早くリーダーは決断を下すべきだと思います。リーダーの決断が遅れると、チームの方針が決まらず、部下のモチベーションは下がるものです。リーダーは速やかに決断を下すべきです。その時、自らの決断がどのような結果を招くか速やかに予測することが重要です。たとえば、野球で言えば、ノーアウト2塁にランナーが出た時に監督はどのようなサインを出すのでしょうか？バントで送って、ワンアウト3塁にするのか、打者に右方向に打つ進塁打を指示するのか、あるいは、打者の力量を信じて自由に打たせるのか、3つの手段があると思います。バントや進塁打の成功する確率はどのくらいあるのか見極める必要があります。また、自由に打たせた場合は凡打に終わることも考えておかないといけません。試合状況や選手の能力を考慮して、瞬時に決めなければいけません。リーダーは野球の監督と同じで、すぐに決断が求められます。一番いけないことは、決断をせずに放置することです。放置されたら、チームは成り立ちません。仕事はストップしてしまいます。スタッフはリーダーを信頼しなくなります。

それでは、すぐに決断することが出来ないときは、どうしたらいいのでしょうか。その時は、信頼できる先輩に相談するといいと思います。よき先輩はすぐに答えを出してくれるものです。日頃から、信頼できる先輩を見つけ、電話番号をお互いに交換しておくといいです。ここぞという時に、電話をかけて相談しましょう。常日頃そのような先輩を2~3人確保しておく、事欠かないでしょう。

重大な事項の決断をした後は、スタッフに自分がなぜそう決断したのか説明をしておくといいでしょう。そこに説得性があれば、結果が思わしくないときもスタッフはリーダーであるあなたを信頼してくれるでしょう。

以上がリーダーの行うべき決断です。ポイントは、結果を重視し、速やかに決断することです。しからば、リーダーであるあなたは、部下に信頼されるようになるでしょう。



独立行政法人地域医療機能推進機構 天草中央総合病院
〒863-0033 熊本県天草市東町101番地
TEL 0969-22-0011 FAX 0969-24-2105
ホームページアドレス <http://amakusa.jcho.go.jp>

特定行為研修「術中麻酔管理パッケージ」を修了して



手術室看護師 宮崎 真実

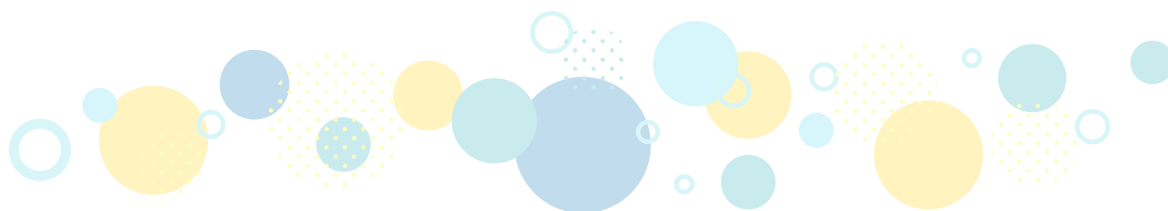
私は天草中央総合病院で手術室に勤務する看護師です。この度、熊本大学病院で術中麻酔管理パッケージの特定行為研修を修了する事が出来ましたのでこの機会にご報告致します。

まず、特定行為研修の説明をする前に、看護師の業務について説明をします。看護師の仕事は保健師助産師看護師法により定められていて、「診療の補助」と「療養上の世話」の大きく二つあります。後者の「療養上の世話」は、看護師の主体的な判断と技術をもって行う看護師の本来的業務です。前者の「診療の補助」は、身体的な影響が軽微な医療行為の一部について補助するものであり、多岐にわたっています。ただし、医師または歯科医師の指示に基づかなければ実施できません。そこで、チーム医療のキーパーソンである看護師が、医療安全に配慮し、在宅を含む医療現場において、高度な臨床実践能力を発揮できるよう「特定行為に係る看護師の研修制度」が、保健師助産師看護師法に位置付けられ2015年10月から開始されました。

「診療の補助」の部分より専門的に学ぶ特定行為研修とは、「看護師が手順書により特定行為を行う場合に必要とされる実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能を図る研修」と定めているもので、その行為は21区分38行為を示します。この研修により、看護師が知識・技術を高めることで、医師の指示を待たずに患者様にタイムリーな対応が可能になります。その中でも私が受けた研修である「術中麻酔管理パッケージ」とは、38行為の中で、周術期に実施頻度の高い行為を厳選しパッケージ化したものです。具体的には、人工呼吸器の設定変更、挿管チューブの位置調整、動脈採血や動脈血管確保など2区分8行為あります。

私は手術室看護に14年間携わる中、日頃よりもっと根柢を持って看護実践をやりたいと考えていました。丁度そのタイミングで、当院院長からこの研修を受けてみないか、とお声掛けを頂きました。4月から研修期間に入りましたが、通常業務と並行しながらであり、9月は熊本大学病院に週2～3日通い集合研修を受け、あとはeラーニングで自己学習を進めました。10月からは、熊本市内で一人暮らしを始め、熊本大学病院の手術室で実習を受けました。家族と離れて暮らす事は初めてで、最初はホームシックになりましたが、しばらくすると、その気持ちも薄れ、県内最先端の医療を行う大学病院の手術室の規模の違いに驚きの毎日を過ごし、看護学生以来の新鮮さを感じる日々でした。しかしながら、この中で感じた事は、病院が大きくても、小さくても患者様を第一に考え、患者様中心に行う医療は同じだという事でした。他の病院を知る事で当院の良い所を再確認する事も出来たことは、よかったですと思っています。

修了後すぐに研修で学んだ特定行為を安全に実施していく事は難しいですが、今後も日々研鑽し患者様へ寄り添える看護師を目指していきたいと思えます。また、私が生き生きと活躍することでモデルとなり、これからもドンドン特定行為研修修了者が院内にさらに増える事を期待したいです。そのことが、天草中央総合病院の看護の質の向上に繋がり、この天草地域で安心・安全かつ迅速でシームレスな医療の提供が出来ると考えます。



天草地域における感染症患者搬送訓練を実施しました

感染防止対策室 坂本 陽子

当院は結核病床を有する第2種感染症指定医療機関として天草地域の感染に係る中心的な役割を担っています。また、感染防止対策向上加算1を算定し、患者に安全で快適な療養環境の提供に努めています。2022年診療報酬改定により、新興感染症の発生を想定した実施訓練を加算2施設と合同で開催することが感染対策向上加算1の要件となっており、天草地域では、2022年度より感染対策向上加算に関わる施設、外来感染対策向上加算施設、医師会所属の医院やクリニック、保健所、広域連合と協力し、天草地域感染症患者等移送訓練を実施しています。

熊本県における保健医療対策のひとつとして、天草管内における感染症患者等の移送に関する協定が広域連合と結ばれ、それに基づき天草管内で一類・二類感染症等が発生した際に、関係機関が適切な対応をとることができることを目的に、保健所主催で感染症患者等移送訓練を計画しました。今年度は12月21日に、鳥インフルエンザ(H5N1)の疑似症患者を想定して搬送訓練を実施しました。患者搬送で課題となった事項は、夜間や休日帯の体制で疑似症患者が出た場合の対応や、診療所やクリニックから疑い患者が発生した場合の対応をどうしたらよいか等の課題が明確となりました。今後も他施設との連携を深め、病院の特性を生かし、天草管内ワンチームとなって、天草の地域医療に貢献できるよう頑張りたいと思います。



【部署紹介No.9】

《 手術室 》

手術室師長 園田 喜子

当院の手術室は3室あり、うち1室は人工関節手術にも対応できるクリーンルームです。入院・日帰り手術を合わせ年間900件以上の手術を行い、緊急を要する場合も24時間対応できる体制を整えています。

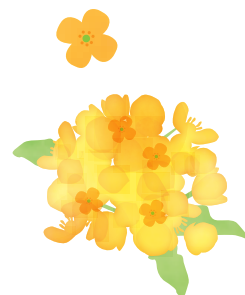
各診療科の主な手術は、外科は乳腺・ヘルニア・胆石をはじめとする消化器系・下肢静脈瘤など、産婦人科は帝王切開・子宮脱・卵巣腫瘍・子宮癌の初期の手術など実施しています。整形外科は変形性膝関節症や半月板損傷、スポーツ外傷や骨折などの手術、また福岡大学の協力のもと肩腱板断裂・変形性股関節症・腰椎ヘルニアなどにも対応しています。歯科口腔外科は、局所麻酔では困難な埋伏抜歯や障害者の歯科治療を全身麻酔で行う他、良性腫瘍・のう胞や口腔癌の切除、顎骨骨折・歯性感染の消炎等の手術を行っています。

手術が決定したら、麻酔科医や主治医と連携しながら、患者さんの状態を確認して準備を行います。また、医師だけでなく、臨床工学技士・診療放射線技師・臨床検査技師など多職種とも連携し、患者さんに最善の手術が提供できるよう努めています。

入院にて予定手術を受けられる患者さんには、術前訪問を行っています。患者さん個々に合った情報を提供し、患者さんが手術に臨むための援助をしていますので、分からないことや不安なことなど、どうぞ遠慮なくご質問ください。

また手術室看護師は中央材料室と兼務しており、手術器材だけでなく、病院全体での検査や処置を安全に行えるように、使用する医療器材・材料を管理して提供できるように努めています。

手術室・中央材料室とも、『安心して安全・安楽な手術を受けてもらえる』ように専門的な知識や技術を磨きながら、適切な医療と看護実践ができるように頑張っています。



天草がんサロン「たんぽぽの会」を開催しました

2月20日水曜日に、コロナ禍で休止しておりました天草がんサロン「たんぽぽの会」を約4年ぶりに開催しました。当日は参加者の皆さんとお互いの近況について話をしたり、今後の「たんぽぽの会」の予定等話し合いました。3月は例年行っていました花見を3月30日土曜日に開催致します。4月以降はミニ講座なども予定しております。

天草がんサロン「たんぽぽの会」に参加を希望される方は、下記担当までご連絡ください。

天草がんサロン「たんぽぽの会」について

開催：毎月第3水曜日 13：30～15：00
開催場所：天草中央総合病院（第2会議室）
対象者：がん患者（入院、通院、他院問わず）、ご家族、その他支援者
参加者：治療経験者、がん患者、ご家族、病院職員
会費：お茶代（100円）
**問い合わせ先：天草中央総合病院
がん相談支援センター
担当：須崎、福田
TEL：0969-22-0011**



【今年度の研修受け入れ状況】

研修医	人数
臨床研修医（産科）	8
臨床研修医（内科）	1
合計	9

実習生	人数
医学生（熊本大学）	10
薬剤師	4
看護師	140
理学療法士	5
作業療法士	3
放射線技師	2
歯科衛生士	5
栄養士	8
医療事務	1
合計	178

当院は臨床研修病院：協力型として、医師の研修生の受け入れを継続的に行っています。

その他、医療機関に従事する職種は様々あり、薬剤師、看護師、臨床検査技師、診療放射線技師等の養成を目的とし、学校若しくは養成所等の学生を受け入れています。

今年度は臨床研修医9名、医学部生を含んだ実習生総勢178名を受け入れ、当院職員が指導を行ってまいりました。コロナ禍で細心の注意を払いながら、積極的に受け入れています。

当院の臨床現場で実際に学んだことを糧とし、さらに机上での学びと統合させ、資格取得に向け頑張っていたただきたいです。また、未来の医療界を支える医療従事者として、当院職員の働く姿が学生のモデルとなっていれば、実習機関としては幸せなことです。

2024年 外来診療担当表(3月)

受付時間: 午前8時30分～午前11時00分 (受付時間は診療科で多少異なります)

診療科		月	火	水	木	金
内科	呼吸器内科	小松 太陽		金子 篤志 小松 太陽		金子 篤志
	消化器内科				岩澤 秀	岩澤 秀
	腫瘍内科	熊野 御堂 慧			熊野 御堂 慧	
	血液内科		宮家 宏 定	松岡 雅 雄 (第2・4水曜のみ)		大 学
	循環器内科				荒木 智(大学)	
	代謝内科	吉積臨太郎(大学)				
	緩和ケア	松本 衣 里 受付時間: 9:00～11:00				
	二次検査担当		竹口 東 一 郎	竹口 東 一 郎		
外科	診 察	坂本 慶 太	村上 聖 一	坂本 慶 太	(担 当 医)	村上 聖 一
	乳腺・その他検査	竹口 東 一 郎	坂本 慶 太	村上 聖 一	稲尾 瞳 子 受付時間: 13:30～15:30	
	備 考	火・木・金曜日は予約の方のみとなります(新患はお受けできません)。 金曜日は乳腺・その他検査が出来ません。第1・3・5木曜日の午前は手術です。 ※稲尾Dr(木曜・午後のみ診察)は事前に電話予約が必要です。				
整形外科		木山 貴 彦	木山 貴 彦	真田京一(第1・3・5)	木山 貴 彦	弓場 久 嗣
		弓場 久 嗣	弓場 久 嗣	森 修(第2・4)	斧出 大 紀	斧出 大 紀
		斧出 大 紀				
	脊椎外来			真田京一(第1・3) 受付時間: 10:00～15:00		塩川 晃 章 (第3金曜のみ) 受付時間: 10:00～15:00
備 考	手術は毎週水曜日(午前・午後)・第1・3・4金曜日(午後)です。					
産 科	荒木 真 佐 子	平尾 佳 奈 川中みなみ	荒木 真 佐 子	平尾 佳 奈 川中みなみ	荒木 真 佐 子	
婦人科	平尾 佳 奈 川中みなみ	荒木 真 佐 子	平尾 佳 奈 川中みなみ 片瀨 秀 隆 (第2・4水曜のみ)	荒木 真 佐 子	平尾 佳 奈 川中みなみ	
放射線科	担 当 医	吉住 和 弘	原 井 亮 太 山口晃世(大学) (放射線治療医)	原 井 亮 太	担 当 医 松山知彦(大学) (放射線治療医)	
皮膚科	島田 秀一(大学)			大 学		
歯科口腔外科	田中 拓 也	田中 拓 也	田中 拓 也	田中 拓 也	田中 拓 也	
	永尾 優 果	永尾 優 果	永尾 優 果	永尾 優 果	永尾 優 果	
	午後は13:00～16:00の受付時間です。毎週火曜日・第1・3・5木曜日は午前中手術の為、午後からの診療です。					

◎学会等により休診となる場合もございますので御承ください。



独立行政法人地域医療機能推進機構
天草中央総合病院
 〒863-0033 熊本県天草市東町101番地

TEL) 0969-22-0011 (代 表)
 FAX) 0969-24-1808 (連携室)
 0969-24-2108 (医事課)